妊娠期から子育て期をサポート

子育て世代包括支援センター事業

個々の家庭に合った子育て情報の提供や相談支援を行い、妊娠期から子育て期までを切れ目なくサポートします。

問い合わせ　子育て支援課（東８南13、保健福祉センター内、☎25・9722）

子育て世代包括支援センター事業

市では、妊娠期から子育て期（おおむね子どもが18歳）までの子育て世代の身近な相談窓口として、子育て世代包括支援センター事業を行っています。

妊娠・出産・子育てに関する切れ目ない相談体制や、各種子育てサービスの利用によって、安心して子育てができ、子育てが「楽しい」と実感できるよう、サポートします。

妊娠期からのセルフプラン作成

市では昨年7月から、妊娠期から個々の家庭の状況に寄り添っていくため、子育てに関連した必要なサービスの提案や関係機関との調整に取り組んでいます。

妊娠届け出時に保健師がすべての妊婦と「母性相談室」で面談し、周囲のサポート体制や、心身の状況など、その人の状況に合わせたセルフプラン「子育てプランシート」を作成し、妊娠・出産・子育てのさまざまなサポートを説明し、相談に応じています。

今年4月からは専任保育士を配置

子どもの発育や関わり方などに悩む保護者は少なくないですが、「自分に合ったサービスをもっと早く知れたら良かった」という声や、心配が解消されず育児不安が深刻化してしまう場合もありました。

こうした子育ての現状を踏まえ、今年4月から子育てに関する具体的なアドバイスや、地域の子育て情報を提供するため、専任保育士を配置し、相談体制を充実しました。

個々の状況に合った子育てを提案

家庭によって異なる心配事や必要な情報に対し、妊婦や保護者の悩みを伺いながら、保育士・保健師が連携し、それぞれの家庭に寄り添ったサポートをしています。

また、家族からの相談にも対応しています。

プレイルームや母性相談室を気軽に利用してください

保健福祉センターの1階には、小さな子どもが遊ぶことができる「プレイルーム」（授乳室も有り）があり、自由に利用できます。

2階には、妊娠・出産・子育てに関する相談窓口「母性相談室」があり、随時相談を受け付けているほか、子どもの身長や体重を測定することもできます。

特に心配なことがなくても、気軽に立ち寄ってください。日ごとに成長する子どもの様子を、保護者と共有できる場所となるよう開室しています。

転入者向けに子育て情報を案内しています

今年4月から、帯広市に転入した、おおむね就学前の子どもを持つ家庭に、子どもの健診をはじめ、歯科健診フッ化物塗布カードなどの配布や、子育て情報を案内するサービスを開始しています。

電話でも対応可能ですが、市ホームページ内の転入者専用受け付けフォームをご利用ください。子育て支援課から、折り返し電話で連絡します。

▲転入者専用受け付けフォーム

妊娠期から子育て期の悩み気軽に相談してください！

◆受付日時　月～金曜日（祝日、年末年始を除く）
8時45分～17時30分
（プレイルームは９時30分～15時30分）
◆場　　所　保健福祉センター（東８南13）
◆相談内容　妊娠・出産に関する相談（☎25・9722）
子育てに関する相談（☎25・9700）

１階プレイルームには授乳室もあります

２階母性相談室で相談を伺います

例えばこんな相談ができます

妊娠・出産期の悩み

・初めての妊娠・出産でわからないことばかり
・母乳だけで足りてるの？
・赤ちゃんが離乳食を食べてくれない
・予期しない妊娠でどうしたらよいかわからない

子育て期の悩み

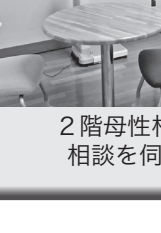
・赤ちゃんが泣いてばかりでつらい
・引っ越してきたけど、子育てのサービスがわからない
・駄々をこねる子どもにどう対応したらいいの？
・隣の家のお母さんが育児でつらそう
・妻が産後、精神的にもつらそうで心配

母性相談室
利用者の声

子どもの体重の増え方が心配で、毎月利用しています。その際に、気になったことを気軽に相談できるので安心です。

子育て情報を配信

「すこやかネット」



▲こちらから

「帯広市すこやかネット」は、市が運営する子育て支援サイトです。

子育てに関する情報のほか、「すくすく教室」の紹介など、子育てに役立つ動画を配信しています。

内容は随時更新しています。

親子で楽しめる「わらべうた」も紹介

中島霊園墓地の貸し出し　市内、市外の居住を問わず、随時、個人で申し込みできます。　問戸籍住民課（市庁舎１階、☎65・4144）